

大宰府史跡解説員

もく お みき お
空尾 幹雄さん



大宰府は1300年ほど昔の古代都市です。ここを守るために造られたのが筑紫平野を堰切って造った1200mの長さの土塁が水城で、その翌年に造られたのが政庁の背後の高さ400m、長さ8kmの土塁で囲まれたのが古代山城の大野城（四王寺山）で、政庁の正面、南の方、遠くに見える大野城と同じぐらいの高さの山が5 kmの土塁で囲まれた基肄城です。

私は大宰府史跡解説員ですが高齢になりましたので政庁横の大宰府展示館でこれらの歴史遺構を見学に来られる来訪者（国内だけでなく台湾、中国、東南アジア、オーストラリア、ヨーロッパなど）に大宰府の説明をしております。

見学の方は大変驚いて、有名な大宰府を身近に見聞することが出来て喜んで帰られます。

こんな見学者の様子を見ていると太宰府の市民であることを誇りに思いますし、楽しいです。これが「私のだざいふ」です。

特集

市民意識調査の結果をお知らせします …… 2～3

あなたも、ヘルスメイトになりませんか？ …… 6～9

7月は同和問題啓発強調月間 …… 10

市からのお知らせ …… 11～15

連載 …… 16～23

なんでも情報コーナー …… 24～29

太宰府の文化財 …… 30

※掲載記事は編集作業の都合上6月17日時点までの情報に基づきます。配布時とのずれなどがありましたらご了承ください。

市政ニュース

世界に羽ばたく人材育成

令和の都だざいふ応援大使の講演会を開催

本市出身で令和の都だざいふ応援大使の宮本雄二・元中国大使の講演会を5月19日(月)、市内高校・大学の3校で全世代が参加する形で開催しました。

この講演会は、宮本さんが生まれ育った故郷に恩返ししたいという想いから実現し、世界で活躍した経験から特に若い世代へメッセージを伝えました。

本市では、今後も令和の都だざいふ応援大使の協力なども得ながら、特に若い世代が世界に羽ばたくきっかけとなる機会を提供していきます。



市内高校で講演する宮本さん

民間企業との連携

アビスパ福岡応援デーを開催

昨年8月にアビスパ福岡と「フレンドリータウンに関する協定書」を締結し、5月31日(土)に本市初のアビスパ福岡応援デーを開催しました。小学生・保護者300組600人を無料招待し、エスコートキッズやアビータッチのイベントにも参加しました。会場では、本市PRブース設置やハーフタイムの楠田市長とおとものタビットの挨拶などを通してまちの魅力をPRしました。

本市はこれからもアビスパ福岡を応援していきます。



アビスパ福岡応援デー会場の様子